

APAコーポレーション「リポソームウモ」の9月発売予定を発表

水溶性珪素「u mo (ウモ)」の原料メーカーであるAPAコーポレーション(エーピーイー、本社愛知県岡田憲己社長)は2月21日、年初恒例の販売会社会議を、名古屋名鉄グランドホテルで開催した。水溶性珪素「u mo (ウモ) 濃縮溶液」をリポソーム化し、吸収性・安定性を高めた「リポソームウモ」を、9月をめどに発売する予定であることなどを発表した。



あいさつする岡田憲己社長

ついても紹介した。富山県立大学工学部工学科の立田真文准教授が、水溶性珪素について、非晶質と結晶質の違いの研究を進めていること

学博士の知見により、開発が可能になったという。水溶性珪素がリン脂質のカプセルに包まれているため、①吸収性向上②体感のスピードアップ③成分の無駄の解消による、効果の最大化④長時間の効果の持続——が期待できるといふ。

神保氏による、血圧の臨床試験が進んでいることも報告。機能性表示食品の届け出受理に向けた研究だとした。2月にヒト臨床試験を開始し、7月のエビデンス取得を目指すという。

た。僕自身も加齢を感じていたので、「一石二鳥だ」とコメントした。岡田社長は、農業資材として、もみ殻由来の水溶性けい酸原液「Plant u mo」ブランド「ウモ」を発売したことも報告。農林水産省で肥料登録がされているという。家庭用としても使え、OEM供給も可能だとした。

エビデンスの取得もさらに活発化

本になるほどである。科学的成果を背景に、300億円の市場ができていく「など」と話した。

愛知医科大学の福沢嘉孝教授(当時、現名誉教授)が20年に行った、生活習慣病合併症脂肪肝に関する臨床試験や、日本ヘルスケアプロダクツ医学会(事務局東京都)の神保大樹理事長が24年に

にも触れ、「立田先生が非晶質の優位性を唱え始めたのは6~7年前。今や、非晶質であることの重要性が、多くの人に理解されるようになってきている。非晶質水溶性珪素に関する研究が論文化されることもあり、今後『非晶質の時代』を迎えるのでは」との見通しを示した。

「リポソームウモ」の9月めどに発売予定

岡田社長は、「リポソームウモ」の発売を進めていることも明らかにした。9月をめどに発売する予定だとした。

岡田社長は、「リポソームウモ」の9月めどに発売する予定だとした。岡田社長は、今後取得予定のエビデンスについても紹介。水溶性珪素摂取による、血圧や血管への治験の結果を踏まえ、男性機能に対しても何らかの影響があると考えたという。そこで、「水溶性珪素摂取時の男性機能の変化に関する研究」を進めているとした。

た。「社会のため、水溶性珪素の普及に努めてもらいたい」などと聴衆に呼び掛けた。医療健康関連事業を展開するすかい21(本社沖縄県)の瀬戸山忠人社長も登場。リカバリー商品としてこのほどすかい21が開発した「CBDシリカバーム」の特性について紹介した。

科学的成果を背景に300億円市場を形成

冒頭、岡田社長がいさつした。水溶性珪素「u mo」の開発から25年の間に、膨大なエビデンスを蓄積してきたことに言及。「エビデンスは

改善に関する臨床試験に

「u mo」がHALAL(ハラール)認証を取得していることや、特許

本商事(本社石川県)と水の研究者の中島敏樹理

性珪素摂取時の男性機能

懇親会であいさつするイメーじキヤラクターのルー大柴

た。このほどすかい21が開発した「CBDシリカバーム」の特性について紹介した。



懇親会であいさつするイメーじキヤラクターのルー大柴